
株式会社N F Kホールディングス
会社説明会資料

平成23年8月

I 会社概要

I 会社概要①

商号	株式会社NFKホールディングス
本社	横浜市鶴見区尻手2丁目1番53号
代表者	代表取締役 関口 陽介
設立	1950年4月12日
資本金	2,091百万円（平成23年3月末現在）
売上高	2,068百万円（平成23年3月期連結）
従業員	104名（平成23年3月末現在・連結）

I 会社概要② 企業集団の概況

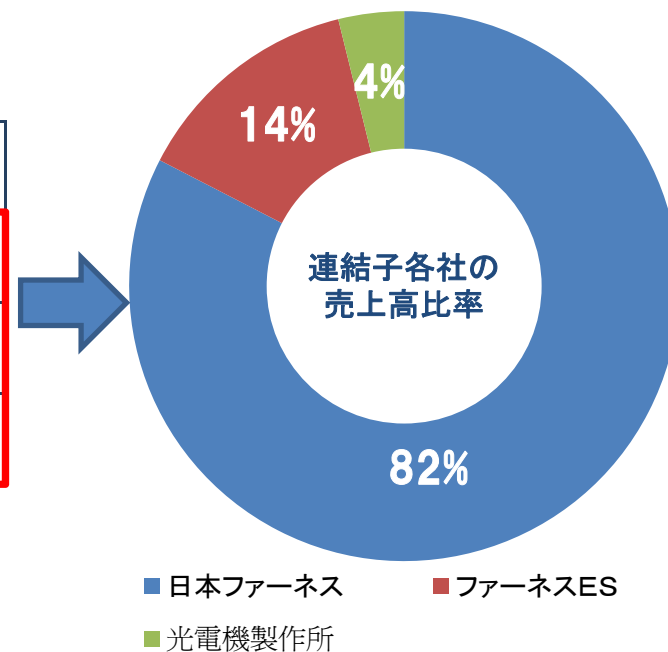
(1) 企業集団の主な事業内容

当社グループは燃焼装置関連事業をコアビジネスとするホールディングカンパニーとなっており、連結子会社3社からなる企業集団となっております。

(2) 企業集団の構成

会社名	事業内容	売上高
日本ファーンエス株式会社	燃焼関連装置製造販売	1,776百万円
株式会社ファーンエスES	燃焼関連装置メンテナンス	292百万円
株式会社光電機製作所	電装関連機器設計製造	83百万円

(売上高：平成23年3月期)



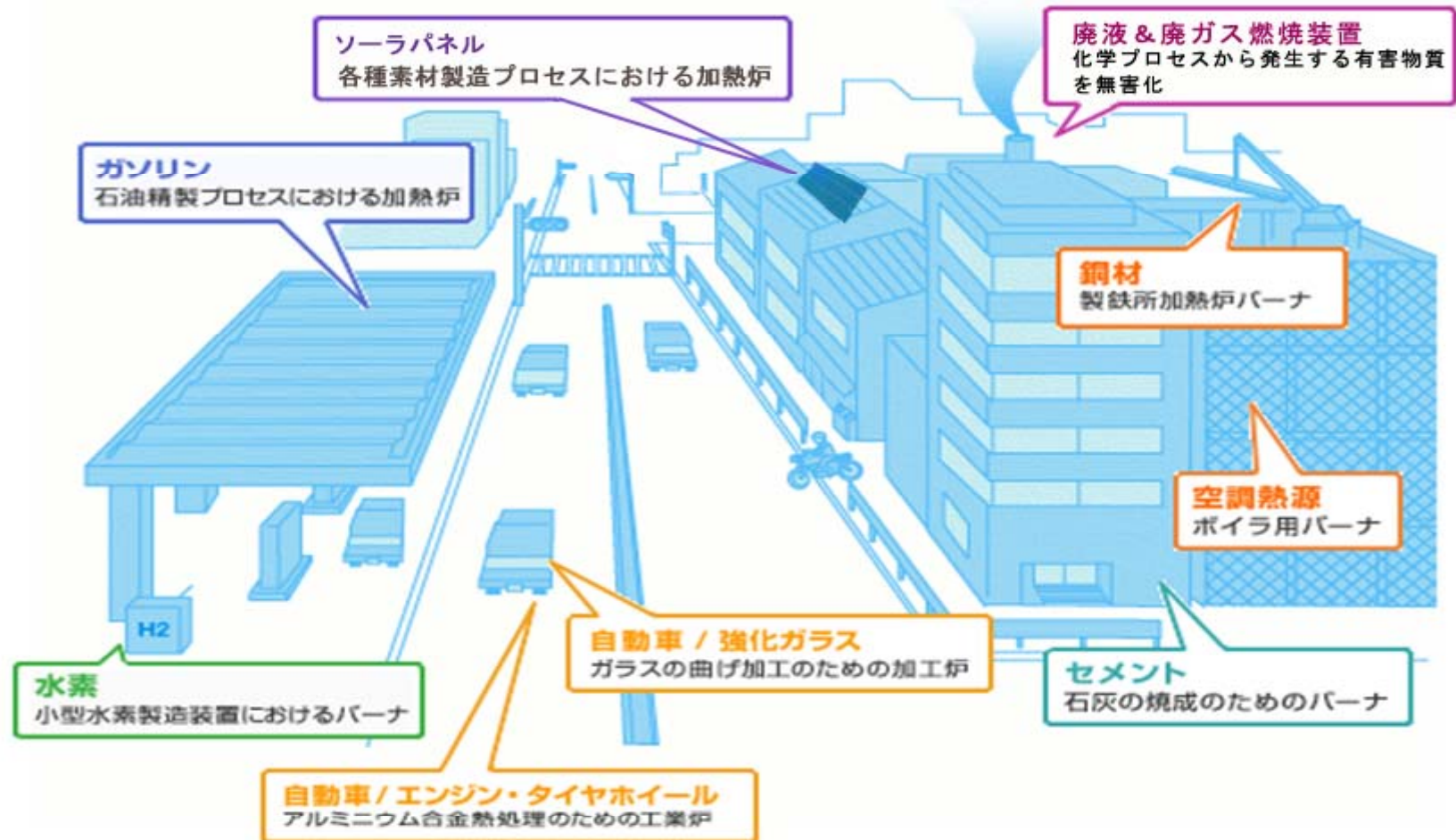
I 会社概要③ 当社の企業理念

- 燃焼技術を企業経営の基礎とすること
- 燃焼関連の最先端技術を社会に提供すること
- 地球環境の保全と循環型社会の実現に貢献すること
- 全てのステークホルダーの利益に貢献すること
- 上記に向けて絶え間ない努力とチャレンジを継続すること

I 会社概要④ 沿革

昭和25年04月	日本ファーンレス工業株式会社（当時、日本火熱材料株式会社と称し、翌年昭和26年6月、日本ファーンレス工業株式会社に商号変更）設立。
昭和28年09月	蒲田工場（機械工場）設置
昭和37年08月	横浜市鶴見区に本社事務所建設
昭和38年05月	日本証券業協会に株式を店頭登録
昭和38年06月	鶴見工場設置
昭和38年09月	蒲田工場を廃止、機械工場を鶴見に集約
昭和45年05月	日本ファーンレス製造株式会社（連結子会社）を設立
昭和50年04月	鶴見にプラントビル増設
平成11年06月	鶴見工場売却
平成16年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場
平成18年09月	株式会社光電機製作所を子会社化（現・連結子会社）
平成18年10月	株式会社NFKファイナンスを統合し商号を株式会社NFKホールディングスに変更。工業炉燃焼装置製造業を会社分割により新設会社日本ファーンレス株式会社（現・連結子会社）に移転
平成20年10月	株式会社ファーンレスES（現・連結子会社）を設立
平成22年01月	日本ファーンレス製造株式会社の全事業を連結子会社日本ファーンレス株式会社へ譲渡

I 会社概要⑤ 当社と社会の関わり



Ⅱ 日本ファーンレス株式会社 事業内容

II 事業内容



1. プラントエンジニアリング事業

- ・産業機械関連
- ・石油関連
- ・環境関連



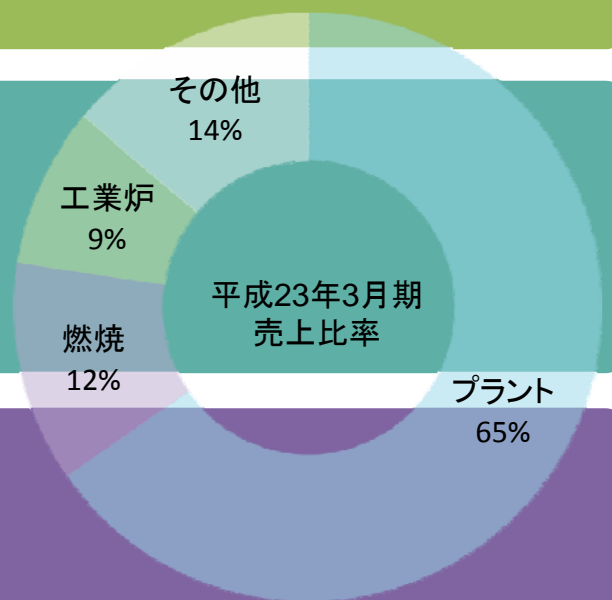
2. 燃焼機事業

- ・金属加熱関連
- ・ボイラ関連



3. 工業炉事業

- ・自動車関連
- ・金属加工炉関連



II 事業内容 プラント部門

ロータリーキルン燃焼状態



特殊熱風発生炉(高圧型)



直火式熱風発生炉



ロータリーキルンバーナ



空気加熱炉



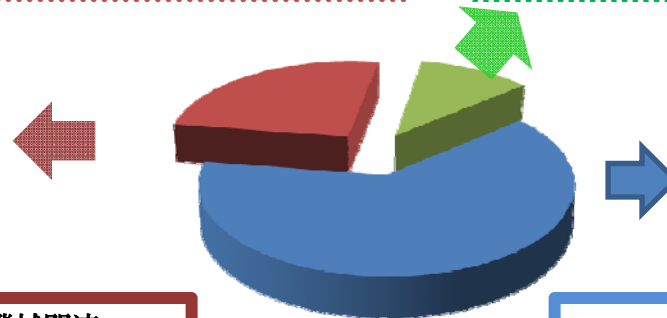
HRS-UXバーナ



硫黄回収装置



廃液&廃ガス燃焼装置



産業機械関連

- 【主な製品群】
- ロータリーキルン・バーナ
- 熱風炉
- 【主な販売先】
- 鉄鋼関連
- セメント

石油関連

- 【主な製品群】
- 空気加熱炉用バーナ
- プロセスヒーター用バーナ
- 【主な販売先】
- 石油精製企業

環境関連

- 【主な製品群】
- HRS-UXバーナ
- インシネレーター
- 小型加熱炉
- 【主な販売先】
- 化学関連企業

II 事業内容 プラント部門主力製品



【廃液&廃ガス燃焼装置】

製品特徴

化学プロセスから発生する廃ガス、廃液を焼却し無害化。完全に焼却させるための滞留時間やNO_xの発生を抑制させる混合方法など、多くのノウハウを活用。

主な販売先

化学メーカー

販売目標

年間3台

価格帯

0.5億～3億

II 事業内容 燃焼機器部門

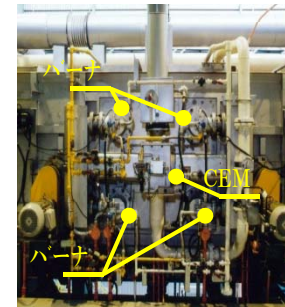
水素バーナ



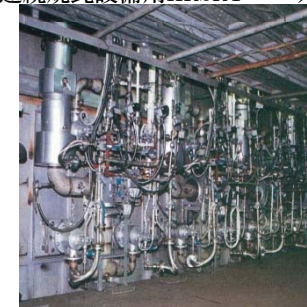
ULN型低NOxバーナ



メッキ設備用 HRSラジアントチューブバーナ



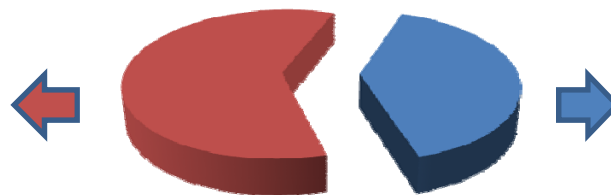
連続焼鈍設備用HRSRTバーナ



ボイラ用廃熱回収器



ガラス製熱交換器



ボイラ関連

【主な製品群】
 水管ボイラ用バーナ
 水素バーナ
 多種燃料バーナ

【主な販売先】
 大手ボイラメーカー

金属加熱炉関連

【主な製品群】
 鉄鋼加熱用リジェネバーナ
 ラジアントチューブバーナ

【主な販売先】
 熱処理業界
 鉄鋼業界

鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



II 事業内容 燃烧機器部門主力製品



【リジェネレイティブバーナ】 (商品名：HRS)

製品特徴

限界排熱回収、低NO_x、
炉温均一化性能が優れている

主な販売先 鉄鋼関連

販売目標 50～100台

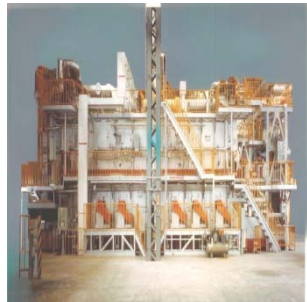
価格帯 300～500万円

II 事業内容 工業炉部門

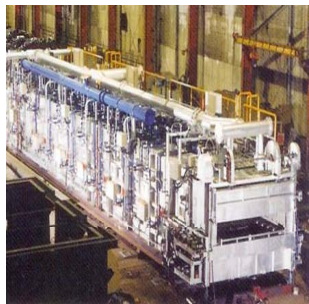
バスケットレス多段回転炉



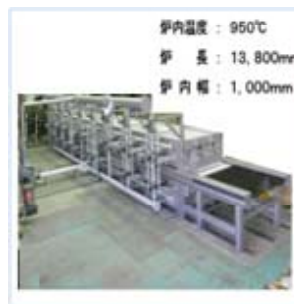
2階建AL鋳物T6熱処理炉



自動車用ガラス曲加工炉



高張力鋼板連続加熱炉



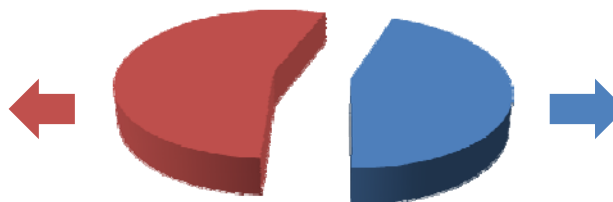
バッチ式熱処理炉(直火式)



バッチ式熱処理炉(RT式)



多目的合金鋼バッチ炉



自動車関連

【主な製品群】
バスケットレス回転炉
ガラス曲げ加工炉

【主な販売先】
大手自動車メーカー
自動車部品製造メーカー

鉄・非鉄金属熱処理関連

【主な製品群】
鉄・非鉄金属熱処理炉
熱処理用ラジアント
チューブバーナ

【主な販売先】
金属熱処理メーカー
窯業関連メーカー

II 事業内容 工業炉部門主力製品



【バスケットレス回転炉】

日本機械工業連合会 優秀省エネルギー機器 『経済産業大臣賞』受賞

製品特徴

バスケットレス化を実現したことにより、従来製品より42%もの省エネ化を実現

主な販売先

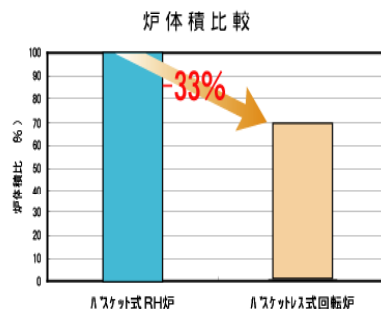
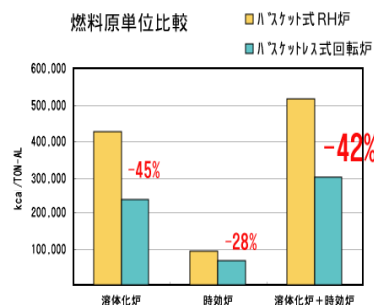
大手自動車各社

販売目標

年間3台程度

価格帯

8000万円～2億円



II 事業内容 当社の強み

卓越した技術力

カスタムメイド

長年にわたり培った製品信用力

優良な顧客基盤

ファブレスで柔軟な経営

Ⅲ 次世代技術

Ⅲ 次世代技術 新型水素製造装置



新型水素製造装置 (HiCOTリフォーマ)

- 新型リジェネレータを活用
- HiCOT技術により水素製造炉、メタノール合成、GTL (Gas to Liquid) などの化学反応炉の省エネ・低公害・加熱性能強化を同時実現。
- 現在、H.TOPSOEにて販促を検討中
- 販売予定価格
6000千万円～1億円

プラント設計・建設：千代田化工建設（株）
バーナ設計製作：日本ファーンズ（株）

Ⅲ 次世代技術 バイオマスガス化コジェネシステム



高温水蒸気発生装置を応用したバイオマスガス化装置によるコジェネシステム

- 開発目処：2012年現場実証
- 市場投入時期：2013年～ 2014年
- 市場規模：プラント型 130億円
(民生型 250億円)
- 目標販売数：約10基/年
- 目標販売額：約5億円/年



IV 平成23年3月期業績と今後の見通し

IV 今後の見通し 平成23年3月期業績

1. 連結経営成績

(単位：千円)

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	3,895,695	2,640,208	2,068,915
営業利益	147,558	△61,499	△278,404
経常利益	155,374	△46,230	△267,393
当期純利益	88,744	△86,144	△231,564
1株当たり当期純利益(円)	2.99	△2.91	△7.81
売上高営業利益率(%)	3.8%	△2.3%	△13.5%

2. 連結財政状態

(単位：千円)

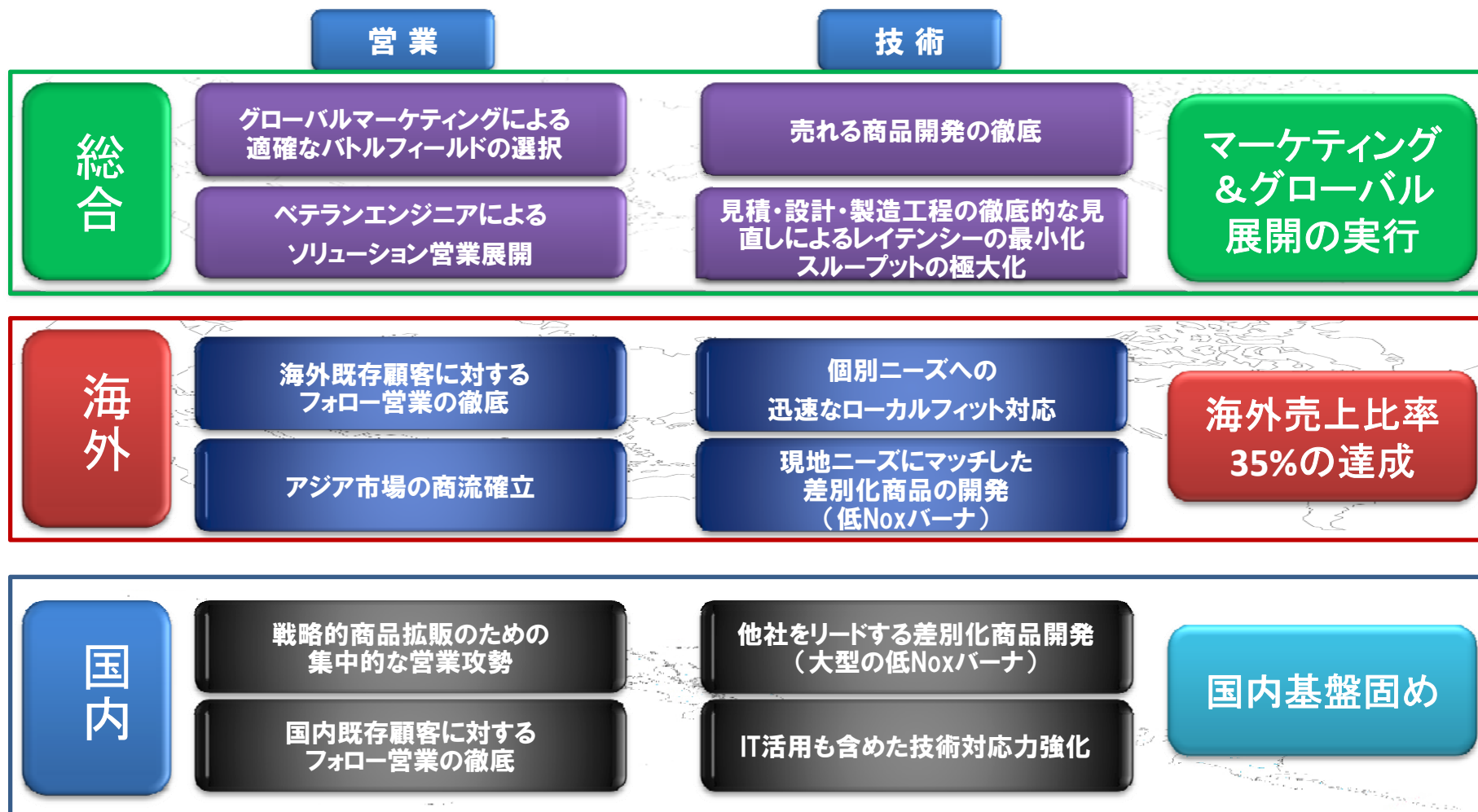
	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
総資産	4,137,377	3,602,357	3,280,305
純資産	2,513,187	2,444,377	2,217,292
有利子負債	180,281	50,460	118,627
自己資本比率(%)	60.7%	67.9%	67.6%
1株当たり純資産(円)	84.75	82.43	74.77

IV 今後の見通し 今期業績について

(単位：千円)

	平成23年3月期	平成24年3月期 (予想)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率 (%)
売上高	2,068,915	3,306,562	+1,237,647	59.8%
営業利益	△278,404	86,663	+365,067	—
経常利益	△267,393	91,998	+359,391	—
当期純利益	△231,564	83,748	+315,312	—
純資産	2,217,292	2,301,040	+83,748	3.8%
1株利益(円)	△7.81	2.82	+10.63	—
1株純資産(円)	74.77	77.59	+2.82	3.8%

IV 今後の見通し 成長戦略について



IV 業務提携について

1. 提携先の概要

商号	オリンピア工業株式会社
本店所在地	東京都立川市富士見町7-33-28
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 宮原 英輔
資本金の額	96百万円
設立年月日	昭和40年2月9日
売上高	1,659,688（平成22年6月期、千円）

2. 業務提携の概要

- (1) コスト競争力強化を目的とした製造拠点活用の協力
- (2) 提供ソリューション拡充を目的とした製品やサービスの相互供与
- (3) 売上拡大を目的とした国内外営業協力
- (4) 製品開発ターム短縮を目的とした技術や資源の相互協力

3. 業務提携により期待される効果

	NFK	オリンピア
主力製品	中～大型バーナ	小型バーナ
製造工場	無し	有り
プラント製造技術	有り	無し
量産化技術	無し	有り
海外拠点	無し	有り（中国）
ブランド力	大	普通



提携の効果
小型～大型バーナを提案可能
オリンピア社の工場を活用可能
NFKの技術を活用して受注機会の増大化
オリンピア社の量産技術でコスト削減
オリンピア社の中国工場を拠点化
NFKブランドを活用した販売

ご留意事項

ご留意事項

本資料に記載されている計画・戦略・見通しおよびその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいております。これらの期待・見積り・予想は経済情勢や競争環境の変化等の潜在的なリスク・不確定要素、仮定の影響を受けますので、実際の実績は見通しとは異なる可能性がございます。

また、当社は新しい情報・将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する責務を負うものではありません。

本件に関するお問い合わせ

株式会社NFKホールディングス（IR企画室）

WEBによる場合はこちらへお問い合わせ願います

045-575-8000（代表）

E-mail：ir@nfk-hd.co.jp